

肺炎球菌とは

肺炎の原因菌の中で最も多いのが「肺炎球菌」です。

健康な方ののどにも存在していますが、体力や免疫力が落ちたときに肺炎・中耳炎・副鼻腔炎・敗血症・髄膜炎などを引き起こすことがあります。

特に高齢者・糖尿病・心臓病・呼吸器病・腎臓病などをお持ちの方では重症化しやすく、予防が重要です。

キャップボックス®の特徴

- 21 種類の肺炎球菌に対応（従来より広範囲をカバー）
- 現在国の定期接種で使われているニューモバックス®は、40 年前にできたワクチンで肺炎球菌のカバー率 56% ですが、キャップボックス®はカバー率 80%
- 1 回の接種で長期間効果が持続（原則 1 回で生涯免疫を獲得）するため、ニューモバックス®のように 5 年ごとの再接種が不要
- キャップボックス®接種後は、以後のニューモバックス®の接種も不要

ワクチン名	種類	主な対象者	特徴
ニューモバックス®NP(PPSV23)	23 価多糖体	65 歳の定期接種対象と任意接種	幅広い型をカバーするが、免疫が長持ちしない
キャップボックス®(PCV21)	21 価結合型	成人（任意接種）	幅広い型をカバーし、長期の免疫が期待できる

プレベナー 20 [®] (PCV20)	20 価結合型	成人・小児（任意接種）	免疫が長く続くが、型の範囲が限定的
----------------------------------	---------	-------------	-------------------

*プレベナー20[®]は、当院での取り扱いはありません。

接種をおすすめしたい方

- 65 歳以上の方
- 喫煙者、過去に肺炎にかかったことのある方
- 喘息や COPD（慢性閉塞性肺疾患）など呼吸器に持病がある方
- 糖尿病・心臓病・慢性肺疾患・腎臓病などのある方
- 免疫が低下している方（抗がん剤の治療中、ステロイド内服中など）